

# 株式会社サンテクノ

茨城県行方市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

## 精密小径シャフト・ピンの製造技術で培った超精密加工技術を活かし、歯科用医療機器分野へ参入

- 優れた細物精密加工技術を活かして歯科用医療機器分野へ参入し事業の多角化を図った
- 顧客のニーズに沿った新製品を次々に開発・販売し、歯科用医療機器の売り上げを伸ばしている
- 国等の資金の活用、大学等との連携、海外展開支援機関主催の商談会参加等、公的機関の支援を活用

### 企業基本情報

|        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 所在地    | 茨城県行方市芹沢 995-1              |
| 電話/FAX | 0299-36-2511/0299-36-2533   |
| URL    | http://www.suntechno.co.jp/ |
| 代表者    | 代表取締役社長<br>西村 真理子           |
| 設立     | 1992年                       |
| 資本金    | 1,000万円                     |
| 従業員数   | 15人                         |



### 会社概要

細物加工を得意としており、自動車メータ部品やコンピュータ記録媒体部品の小径シャフト、ピンなどを製造・販売。切削、熱処理、めっき、バレル、曲げ加工など全ての工程を自社工場で一貫製造することで高い加工精度を維持している。1996年に医療機器製造業の許可を取得し歯科用医療機器の分野への参入を開始。現在、スケーラチップ、ダイヤモンドバー、ファイル、ピーソリーマ、メスチップ等を製造販売しており、医療機器の売り上げは全体の6割を超えるようになっている。

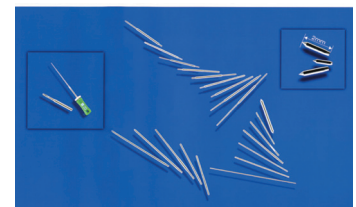


会社外観

### 革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

#### 事業の多角化をはかり歯科用医療機器分野へ参入

自動車メータ部品やコンピュータ記録媒体の部品の量産工場として、小径シャフト、ピンなどを製造してきた。細物加工において優れた技術を有し、また、細長くても曲がりかたでない熱処理技術というオンリーワン技術を活用し、付加価値の高い製品を作り、事業の多角化をはかることとし、医療機器製造業許可/製造販売業許可を取得、歯科用医療機器の分野へ参入した。開発は、ものづくり補助金などの競争的資金を活用し、大学や公設試などの外部機関と連携して行った。



精密細物加工技術による精密シャフト、ピン

#### 世界で初めてチタン製メスチップを開発

ユーザーのニーズに応え、新製品を次々に開発している。歯科用ダイヤモンドバー及びスケーラチップが歯科用医療機器の主力製品であり約8割を占める。歯科用ダイヤモンドバーは、表面にダイヤモンドが高密度に電着する技術を開発し製品化した。スケーラチップは、全工程ワンチャックで加工する専用機を開発し製品化した。チタン性メスチップは世界初の製品で、通常使用されるステンレス製より破損しにくく、耐摩耗性、耐腐食性に優れている。まもなく製品化を予定している。



世界初 チタン製メスチップ

#### 国の助成金など、公的機関の支援を有効に活用

ものづくり補助金や茨城県の助成金など競争的資金を積極的に活用し、茨城大学、茨城県工業技術センターなどと共同で、歯科用医療機器の研究開発に取り組んでいる。

また、経済産業省、UNIDO、JETRO 主催の海外 CEO 商談会に医療機器関連の企業が招聘される時は必ず参加し、海外との取引のための商談をすすめている。展示会へも積極的に参加し、医療機器への転身やIoTの取組を題材とした講演や、新聞掲載など、メディアからも注目されている。



2017/11/17 朝日新聞茨城版掲載(上)  
2017年12月東京ビッグサイト  
もの補助展示会(下)